

まちの話題

ISA City Topics

愛媛県宇和島市へ災害派遣



7月上旬の豪雨により被災した愛媛県宇和島市へ伊佐市の水道課職員2人を派遣しました。

7月11日に行われた出発式にて、柿木伸一さん（測辺）が「被災者の生活が少しでも楽になるように元気よく頑張ってきてほしい」と決意を述べ、給水車に乗って現地へと向かいました。また、16日には総務課職員2人が支援物資（水2Lペットボトル×1,000本）を同市へ運搬しました。

熊本国税局から感謝状



伊佐市が積極的に「確定申告のデータ引継」を実施してきたことに対して、熊本国税局長の肥後治樹氏から感謝状が贈られました。

データ引継とは、今まで税務署に紙で提出していた申告書を、データでの提出に引き継ぐことです。

データ引継を行うことで、税の還付を早くできるなどの住民サービスの向上や事務の効率化などさまざまなメリットがあります。

伊佐米のおいしさ・安全性をPR（表紙）



市とまちづくり協定を結んでいるプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」が今年も田植えイベントを開催しました。

6月24日に大口中央中学校でバスケ教室を行った後、菱刈花北の田んぼ（協力：小北農場）で子どもたちと一緒に田植えを楽しみました。

今年は釜で炊いた伊佐米の振る舞いや、鹿児島トヨタ自動車(株)大口店の協力でプリウスPHV（プラグインハイブリッド車）を利用した炊飯実演、さらには三反園知事も初めて田植えに参加され、伊佐米のおいしさや安全性をPRされました。

おめでとうございます

春の叙勲 旭日双光章
(中小企業振興功労)



内村募さん(小木原下)

観光事業功労者等表彰



長年、市観光特産協会の会長を務め、イベント開催に尽力するなど観光振興に貢献された功績が認められ、県観光連盟から表彰されました。 下小菌充さん(上八坂中央)

春の叙勲 旭日双光章
(地方自治功労)



森山善友さん(湖辺)

危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章
(防衛功労)



平岡繁さん(曾木)

全国大会出場！健闘を祈ります



6月23日に開門総合体育館で開催された「第38回全日本バレーボール小学生大会鹿児島県大会」で、伊佐市スターダストジュニアバレーボールスポーツ少年団が見事優勝しました。

今後、8月7日～10日に神奈川県川崎市で開催される全国大会に県代表として出場します。



羽月西小学校6年生の半田一巴さん(スプリントクラブ疾風所属)が、6月17日に開催された「第35回南日本小学生陸上競技大会」6年女子100mで1位に輝きました。

今後、8月18日に神奈川県で開催される全国大会に出場します。半田さんは6月19日に市長を表敬訪問し、「準決勝まで進出したい」と目標を語ってくれました。

さなぼりで棒踊り披露



7月1日、南永校区の恒例行事「さなぼり（田植えを終えた祝い）」があり、小・中学生と永池棒踊り保存会あわせて24人が棒踊りを披露しました。

棒踊りは戦後途絶えていましたが、昭和50年に保存会が結成されて復活。今年初めて参加した6年生の野久尾譲竜君は「難しかったけど達成感があった」、本田聖藍さんは「完璧に踊れてよかった」と笑顔で話してくれました。

もうひとつのW杯 伊佐市出身者が日本代表選手に！



伊佐市出身の原良田龍彦さん（写真中央）が、8月にスウェーデンで行われる知的障がい者サッカー世界選手権の日本代表に選ばれました（ポジション：MF）。

大口小学校4年の時にサッカーを始め、大口中学校・鹿児島高等特別支援学校を卒業後、鹿児島市内で働きながら日々練習に励んでいる原良田さん。「初出場なので、まずは試合に出て、ゴールを決めたい」と決意を述べられました。

青年海外協力隊の活動報告



6月19日、青年海外協力隊の竹下晴子さんと中村灯さん（ともに山野出身）が市長を表敬訪問されました。

竹下さん（写真左）は栄養士としてケニアの保健事務所に勤務し、学校での栄養指導なども行いました。2年間の活動を経て帰国され、今後はケニアでの経験や異文化紹介などの講演を行います。

中村さん（写真右）はこれから2年間、マラウイの病院で看護師として勤務されます。「まずはマラウイの人たちと一緒に暮らして生活・文化を知りたい。そのうえで自分が知っている知識も共有し、協力できたら」と話されました。

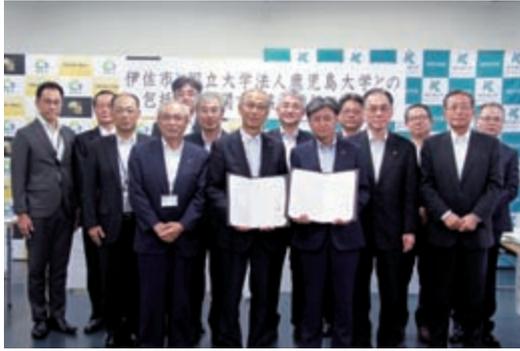
ご当地3キャラが伊佐に集結



7月8日、市制10周年を記念して「伊佐の青少年フェスティバル」が開催されました。市内の小中高生によるダンス発表と大口明光学園による茶会や生け花の展示、ISAnoBAのマルシェが開かれ賑わいました。

トークショーには千葉県船橋市非公認キャラ「ふなっしー」、兵庫県尼崎市非公認キャラ「ちっちゃいおっさん」、伊佐市公認キャラ「イーサキング」が出演。伊佐市出身の漫画家・井上雄彦さんや俳優・榎木孝明さんらにちなんだご当地クイズに挑戦し、軽快なトークとキレのある動きで会場を沸かせました。

鹿大と連携協定締結



7月6日、鹿児島大学と伊佐市は、「地域包括連携に関する協定」を結び、前田芳實学長と隈元市長が調印しました。

今後はさまざまな地域課題の解決に向けて、大学と市が相互に協力し取り組んでいきます。市長は、「大学から教を請うことによって、次の世代の展望が開けるのではないかと楽しみにしている」とあいさつしました。

マンガの不思議を科学で証明



6月21日、「空想科学読本」などの著者・柳田理科雄さんの講演会が大口小学校（写真）・菱刈中学校で開かれました。

柳田さんは著書にて、アニメやマンガの世界で起こること（ドラゴンボールのかめはめ波は打てるのか、ドラえもんのどこでもドアは実現可能か等）の疑問を科学を用いて解説しています。

講演でアンパンマンの顔は何人分かなどの解説や、風船を使った静電気の実験を行うと、「えーっ」「すごーい！」と子どもたちから一斉に驚きの声が上がりました。

柳田さんは、「本をたくさん読んだり人と話したりして、身近にある疑問を発見するための『心のアンテナ』を磨いてほしい」と子どもたちに伝えました。

男女共同参画 デート DV パネル展・学びの広場



7月8日、女性サロン室の皆さんが、大口高校文化祭でデート DV パネル展を行いました。来場者は、パネルやポスターを真剣な眼差しで見入ったり、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンをツリーに結んだりして、デート DV について思いをめぐらせていました。

また、9日には男女共同参画ワークショップデザイナーの高崎恵さんを講師に迎え、大口東小学校で「男女共同参画学びの広場」が開催されました。

児童は簡単なゲームを通して、一人ひとりの違いを尊重し合うこと、自分の思いをしっかりと伝えることの大切さを体感していました。

ボランティアできれいに



十曾青少年旅行村に向かう伊佐ブルーベリー観光農園前の市道を㈱富士建設の皆さんがボランティアで清掃してくださいました。毎年この時期に行っているもので、6月29日の作業では、枝切りや除草、側溝の清掃をされました。ありがとうございました。